

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09020010

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	2 林業の振興	事業優先度	A	
単位施策	1 生産体制の強化	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	町有林除間伐事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	森林施業の計画的推進		#N/A	
事業目標	除間伐 A=270.52ha	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働		関係個別計画名	有 森林施業計画	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	除間伐 A=348.44ha	除間伐 A=79.28ha	除間伐 A=51.40ha	除間伐 A=45.80ha 標準地調査 13箇所	除間伐 A=40.80ha 標準地調査 16箇所	除間伐 A=53.24ha 標準地調査 15箇所
計 画 事 業 費	事業費(千円)	98,500	24,000	19,000	17,000	15,000
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	61,300	17,900	10,600	10,000	8,700
	地方債	0				
	その他	37,200	6,100	8,400	7,000	6,300
実 績 事 業 費	一般財源	0				
	事業費(千円)	41,224	23,415	17,809	0	0
	国庫支出金	0				
	道支出金	27,502	15,504	11,998		
財 源 内 訳	地方債	0				
	その他	13,721	7,911	5,810		
	一般財源	1		1		
	特定財源の名称 町有林除間伐事業補助金 町有林素材売払収入	【評価・実績】	(実施内容等) 除間伐 A=70.16ha  ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 除間伐 A=51.40ha  ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等)  ※事務事業評価結果	(実施内容等)  ※事務事業評価結果
前 期 計 画 か ら の 継 続 (継続有り)	年度目標値	除間伐 A=79.28ha	除間伐 A=51.40ha	除間伐 A=45.80ha	除間伐 A=40.80ha	除間伐 A=53.24ha
第 6 期 計 画 へ の 継 続 (継続有り)	年度達成率		98%	94%	0%	0%
	全体達成率		24%	42%	42%	42%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	町有林除間伐事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	林務係長	渡部 憲一

様式1  
平成26年度実施  
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町有林	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	除間伐面積
【抱える課題やニーズは】	前回実施した除間伐から年数が経過したため、林内の立木密度が高くなった。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	林内の立木密度を適正に保ち、風通しと明るさを確保して、残存木の成長を促進する。	① 除間伐実施面積÷除間伐計画面積	目標年度 平成26年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	人工林の健全な育成		目標値 51.40 ha
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①除間伐の実施	残存木の成長を促進するため、目的とする樹種以外の樹木や目的樹種であっても形質の著しく劣る立木を林分内から除去する事業の実施。	実績値 51.40 ha
			達成度 100.0 %
			②
			目標年度 平成26年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0! %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	森林資源の確保や町土の保全など森林の持つ多面的な機能の有効活用を図るべく、生産体制の強化を推進するため、町有林事業は行政が責任を持って行っていく必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	森林資源内容の充実と生産力の増強が図られるとともに、森林の持つ多様な機能の高度発揮に寄与した。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	森林整備加速化・林業再生事業、公共造林補助事業の対象事業であり、北海道が示す標準単価を参考にして間伐事業を実施していることから、事業コストは妥当である。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	また、事業実施にあたっては、補助事業の要件を充たす範囲の事業実施に努めている。
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	国の実施要領(森林整備加速化・林業再生事業、森林環境保全整備事業)で定められている負担区分に基づき負担している。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
本事業の実施で、森林資源内容の充実と生産力の増強が図られるとともに、森林の持つ多様な機能が高度に発揮されることから、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
本事業は、町有財産の形成のみならず、林業生産力の向上や地域経済への効果が見込まれるものであることから、継続して実施すべき事業であり、当分は現状維持が適当である。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止